様式2

まちづくり交付金　事後評価シート

福岡城城郭地区

平成21年12月

福岡県　福岡市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	福岡城城郭地区		面積	48ha
交付期間	平成18年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	333.5百万円	国費率	0.4	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園事業：舞鶴公園（下の橋大手門復元整備、石垣等保存修景整備事業、鴻臚館跡第二期前期整備事業）
	提案事業	事業効果把握調査

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		
		なし		
	提案事業	なし		
新たに追加した事業	基幹事業	なし		
	提案事業	鴻臚館展示館等集客力向上事業	体験学習施設の展示物等を充実させ来館者の満足度をあげるため	体験学習施設の満足度アップに効果があり、指標2の体験学習施設入館者数の増加に寄与するが、数値目標は据え置く。

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成18年度～平成21年度	
	変　更		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

	指　標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	駅利用者数	人/日	19,601	H15	21,000	H21	－	21,043	○	あり／なし	平成18年度より、下の橋大手門復元整備事業等を開始し、それにともない平成19年度より各種広報（市の広報誌、まちなかへの看板設置、ホームページ等）により市民への周知を行ったため、施設の竣工前から徐々に駅利用者が増加し始めた。平成20年度に施設が竣工し、さらに駅利用者の増加傾向は続いている。 このように、これらの歴史的資源の整備が駅の利用者数の増加に大きく寄与した。	H23.7
指標2	体験学習施設入館者数	人/年度	20,443	H16	24,000	H21	－	25,023	○	あり／なし	平成19年度より各種広報（市の広報誌、まちなかへの看板設置、ホームページ等）を実施し、そのなかで体験学習施設の広報も同時に行ったため、平成19年度以降、入館者数が増加した。 平成20年度の下の橋大手門の竣工に伴う相乗効果により、体験学習施設への入館者数も増加した。 このように、整備事業が入館者数の増加に大きく寄与した。	H23.4
指標3	計画地区の魅力度	%	－	H17	50	H21	－	81	○	あり／なし	焼損した下の橋大手門の復元や石垣等保存修景整備等の歴史的景観の再生により、福岡城城郭地区の来訪者にとって、地域の魅力度の向上が図られた。 また、リーフレットの作成も行っている。 さらに、今年度中に鴻臚館展示館等の展示物レイアウトの変更なども予定している。	－
指標4										あり／なし		
指標5										あり／なし		
指標6										あり／なし		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

	指　標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	下の橋大手門周辺でのイベント開催数	回	0	H17			－	4			下の橋大手門の復元や石垣等保存修景整備等の歴史的景観の再生により、下の橋大手門周辺でのイベント数が平成17年度は0であったのものが、平成21年度には4回開催され、福岡城城郭地区への来訪者の増加、市民へのアピール等に大きく寄与した。	H23.4

4）定性的な効果発現状況

・平成21年度にボランティア団体により、福岡城めぐりが2回開催された。また、ボランティア団体からの福岡城城郭地区の草刈りを実施したいという申し出があった。
・NPO主催のシンポジウム、ボランティア団体の講習会などで、福岡城の歴史について講演を実施し、参加者から好評を得ている。
・福岡城城郭地区内でのボランティアの活動が盛んになっている。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況	今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	なし
住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	なし
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	なし

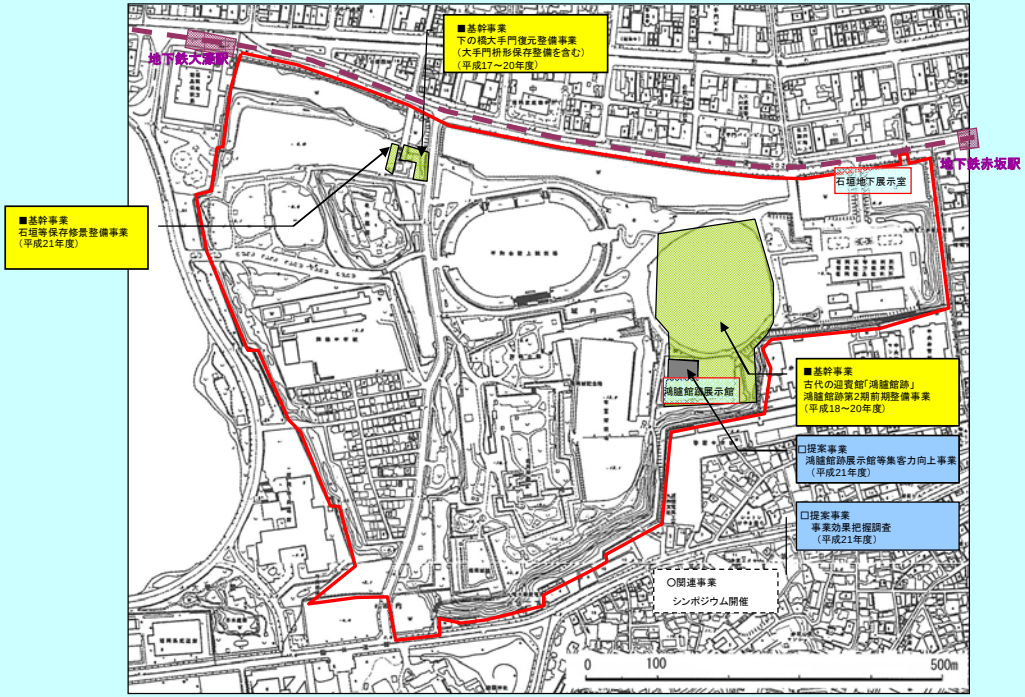
様式２－２　地区の概要

福岡城城郭地区（福岡県福岡市）　まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：福岡都心部のほぼ中央に位置する福岡城の歴史的景観を再生し、都心部を訪れる人々の東西回遊の中継拠点の創出を図る	駅利用者数	単位：人／日	19,601	H15	21,000	H21	21,043	H21
目標１　近世城郭としての福岡城跡の修景・復元整備を行い、都市中央部における高質な歴史的景観を再生する	体験学習施設入館者数	単位：人／年度	20,443	H16	24,000	H21	25,023	H21
目標２　福岡城の歴史的価値や重要性等について、実感しながら学び、理解できる学びの場を創出する	計画地区の魅力度	単位：%	－	H17	50	H21	81	H21
目標３　福岡城が有する歴史的・文化財的資産を活かす市民の文化的活動振興の場を創出する								

【下の橋大手門】

【石垣等保存修景】



【鴻臚館跡第2期前期整備】
（旧平和台球場外壁撤去）

まちの課題の変化	・下の橋大手門周辺の石垣上の塀が老朽化しており、修復が必要である。 ・（伝）潮見櫓西側石垣の保存と修景は図られたが、その他の石垣についても修景整備が必要である。 ・旧平和台球場南側の整備が遅れており、一体的な歴史景観・実感して学べる場の創出が課題となっている。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・（伝）潮見櫓西側石垣以外の石垣の修景整備を図り、歴史景観の再生を実施する。 ・旧平和台球場南側の仮整備（模擬柱設置の地形表示等）を図り、鴻臚館跡全体としての歴史資源の整備を行う。 ・団体観光客のための観光バス乗降場としても使用できる多目的広場の整備を検討する。 ・市民への広報等をさらに強化し、福岡城城郭地区の来訪者の増加につなげていく。また、地区内のルートマップや案内板などを設置し、スムーズに地区内を散策できるようする。